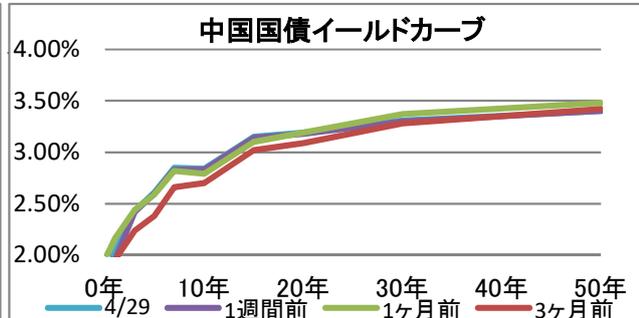
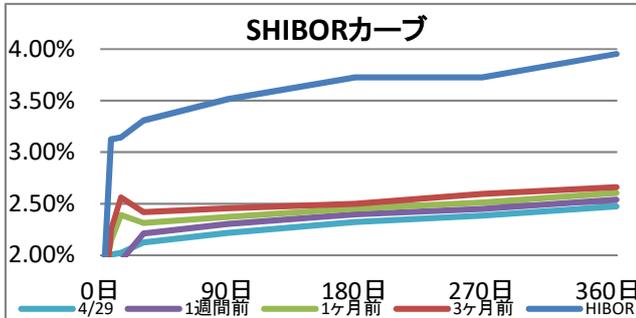


基準レート		2022/4/29	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.6177	+0.1581
	JPY/CNY	5.0616	0.0276
SHIBOR	3M	2.2170%	-0.0880%
国債利回り	10年	2.84%	+0.01%
上海総合指数		3,047.06	-39.86



## (1) 概況

国際金融市場では、米FRBの急速な金融引き締めへの懸念を背景に、中国のみならずロシアからのガス供給が停止された欧州の景気悪化への懸念、さらにハイテク企業株価の調整も加わり米国では株式市場が乱高下したものの、欧州では概ね安定的に推移している。外為市場ではドルが対円で20年来、対ユーロでは5年来の高値まで買われたものの、その後やや下げて週末を迎えている。

中国金融市場では、政府からのコロナ感染による経済社会への影響最小化、マクロ政策最大化やインフラ整備への財政投入や不動産やIT企業に対する規制緩和への政策転換の兆しも感じられる状況となり、連休を前に株式市場も下げ幅を縮小し、債券利回りも総じて低下している。外為市場では金融政策の方向性の違いからドル高元安が進み、6.6を超えるストップ気味に一気に6.65まで元安が売られたものの、6.60前後に戻して週末を迎えている。

中国では、上海に続き北京でのロックダウンの可能性が高まる状況となるに至り、中央財經委員会でインフラ整備と人民のための財政投入の方針が示され、國務院常務会ではコロナ対策とサプライチェーン維持等による雇用維持や社会保障支援を明確にし、中共中央政治局会議でコロナ感染による社会経済への影響の最小化とマクロ政策の最大化によるシステムリスク回避が確認され、コロナとの共生に向けた方針変更の兆しや中国人民銀行による科学技術や養老産業への再貸付制度枠設定から、金融市場にも安心感が戻りつつある。中国人民銀行と銀保監会はシステム上重要な銀行の損失吸収能力非資本性債券に関する通知により銀行の資本充実策を整備し、証監会は公募基金発展意見により市場整備を進め、証券先物ネットワーク管理法へのパブコメ募集を開始。

## (2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日500億元に対し、新規リバースオペ500億元を実施する中立な調整。

## (3) 主な経済指標

- ・ 国家統計局PMI (4月) は、製造業が47.4% (3月49.5%)、非製造業41.9% (同48.4%)、総合42.7% (同48.8%) に急低下。映像業ではコロナ感染とロックダウンの拡大により全ての規模の企業、全てのサブインデックスで50を下回る厳しい結果となり、非製造業ではサービス業が40.0% (3月46.7%) と大幅に低下している。
- ・ 財新製造業PMI (4月) は、46.0 (3月48.1) と2影連続での50割れで、過去2番目の大幅な下落幅で2020/2以来の水準に急落。製造、受注共に低下しており、コロナ感染対応に伴うサプライチェーンへの影響による悪化と分析されている。

## ② 資金市場

### (1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.8380%	1.8500%	1.3400%	
1W	2.0060%	1.6300%	2.0500%	
2W	2.0220%	2.0000%	2.0300%	1.7000%
1M	2.1250%	2.5000%	2.1000%	1.7000%
3M	2.2170%	5.5000%	2.3500%	2.0600%
6M	2.3240%	3.5000%		2.2300%
9M	2.3840%	3.2000%		2.4000%
12M	2.4740%	3.5000%		2.4100%

25日に預金準備率が引き下げ実施による資金需給の改善により足元金利水準が低下し、週後半に政府の政策に沿う格好で中国人民銀行が再貸出制度の拡充を決めると、ターム物の金利水準も一段と低下している。ターム物は1ヶ月の2.0%前後での出会いを除き限定的。

NCDも、金融緩和効果により金利水準は徐々に低下しており、ターム物の金利水準は、1ヶ月が1.70%前後、3ヶ月が2.05%前後、6ヶ月が2.20%前後、1年が2.40%程度に低下している。

### (2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	0.25%	0.25%
1W	0.30%	0.35%
1M	0.50%	0.55%
3M	0.80%	0.90%
6M	0.90%	1.10%
12M	1.30%	1.60%

FRBの急速な金融引き締めへの懸念が高まり金利水準は上昇しているものの、中国国内市場は短期取引中心でターム物は1ヶ月の0.60%前後での出会いを除き限定的。

### ③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.85%		2.05%	2.19%	2.42%
6M	1.90%		2.23%	2.31%	2.54%
1Y	2.03%	2.15%	2.38%	2.46%	2.70%
3Y	2.43%	2.60%	2.82%	2.96%	3.38%
5Y	2.61%	2.81%	3.19%	3.38%	4.13%
10Y	2.84%	3.10%	3.58%	3.73%	4.53%

債券市場では、ロックダウンによる景況感の悪化や株式市場の下落から底堅く推移しており、週半ば以降は政府や金融当局の経済支援姿勢が伝わると利回りは低下し、10年国債利回りは2.84%と前週末比ほぼ横ばいで引けている。これにより米10年国債利回り(2.87%)が上回る「逆転」の状況が続いている。

イールドカーブは、緩和期待は高まるものの利回りは下げ渋る状況となり、相対的に短期の利回り低下が大きくスティーピングが続いている。また、クレジットスプレッドも利率債の低下余地が限定的であることから小幅ながら縮小が続いている。

### ④先物為替市場

	USD / CNY
1W	10.0 / 12.0
1M	62.0 / 65.0
3M	165.0 / 170.0
6M	280.0 / 290.0
9M	370.0 / 380.0
12M	390.0 / 400.0

対ドル基準レートは6.6177と前週末比+1581pipsのドル高元安、対円基準レートは5.0616と同+276pipsの円高元安と元安が進んでいる。金融引き締めが既定路線と考えられている米FOMCと中国の連休を控えてドルが買われやすい状況となる中、中国での景況感悪化と金融緩和を含む経済支援への期待が一段と強まり6.60を超えるとパニック的なドル買いから6.65台まで上昇したが、急速な元安への警戒感から6.60前後に戻っている。

先物は、預金準備率引き下げや中国の景況感悪化により1年物が600台を割り込み、週後半に金融緩和期待が高まるあっさり500を割り込み、金曜日に政府から政策転換とも考えられる政策を含む景気支援方針が伝わると1年物が一時300代後半まで縮小後に400前後まで戻して週末を迎えている。

### ⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.03%		1.84%
6M	2.08%	2.32%	1.93%
9M	2.13%	2.37%	1.97%
1Y	2.18%	2.43%	2.01%
3Y	2.38%	2.73%	2.18%
5Y	2.59%	2.99%	
7Y	2.73%	3.17%	
10Y	2.88%	3.34%	

スワップ金利は、中長期債利回りの低下に伴い中長期を中心に小幅ながら低下に転じている。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドに大きな変化は見られなかった。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。